



講座コード
R-222

脳卒中の「運動制御」マスタークース

～頭だけでなく身体で理解するスーパー機能の正体～

脳卒中の運動制御編

日 時: 2026年4月29日(水・祝) 10:00~16:00

2週間見逃し視聴期間あり

会 場: インターネット生中継セミナー

対 象: PT・OT・ST・看護師・医師(左記以外でも受講可)

講 師: 山田 航平 先生 (成田赤十字病院)

受講料: 会員 9,800円(税込) 一般 12,800円(税込)

※永久保存版
PDFスライド付

今、会員になると
年会費 4,900円が無料
実質 7,900円割引



まだ錐体路だけでヒトは運動していると思っていませんか?

脳卒中やパーキンソン病など、中枢神経に障害のある患者さんの運動障害について、錐体路・錐体外路障害の理解で止まっていますか？ 実は錐体路の障害だけみていてはダメ。運動麻痺や姿勢障害のメカニズムは、ドンドン明らかになっているから、理解を深めないと置いていかれるかも…この講座では、運動や姿勢を制御する神経の“つながり”を徹底理解して、障害の本質を知ることで、本当に効果のあるアプローチを実践するメソッドを習得。つながりを知れば脳内のネットワークがグングン分かってハマること間違いなし！

体験して納得！

運動制御理論を身につけて麻痺・運動失調・異常動作の改善を図ろう

Program ① まずは神経ネットワークの基本システムを押さえよう
～大脳一基底核ループ～

大脳一小脳ループ・認知ループ～



Program ② 麻痺の改善を図るための運動制御
～筋緊張と姿勢制御と合わせたトータルアプローチ～

Program ③ 視覚と運動のマッチングがキモ！
運動失調をコントロールする動作アプローチの実際

Program ④ そうだったのか！
運動制御からみたPusher現象・歩行障害の原因とアプローチ

Program ⑤ 神経障害による運動制御を改善するための
4つのループとアプローチへの応用

Program ⑥ ここが臨床のポイント！
運動制御は麻痺の改善と
代償戦略どちらから攻めるべきか



Program ⑦ 感覚フィードバックを制する者が運動を制す！
～体性感覚・前庭・視覚を統合した動作学的アプローチ～

ほか

※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

申込方法

お問い合わせ・お申込先

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

臨床を元気に! 日本離床学会

